

ヘルスケアイノベーション

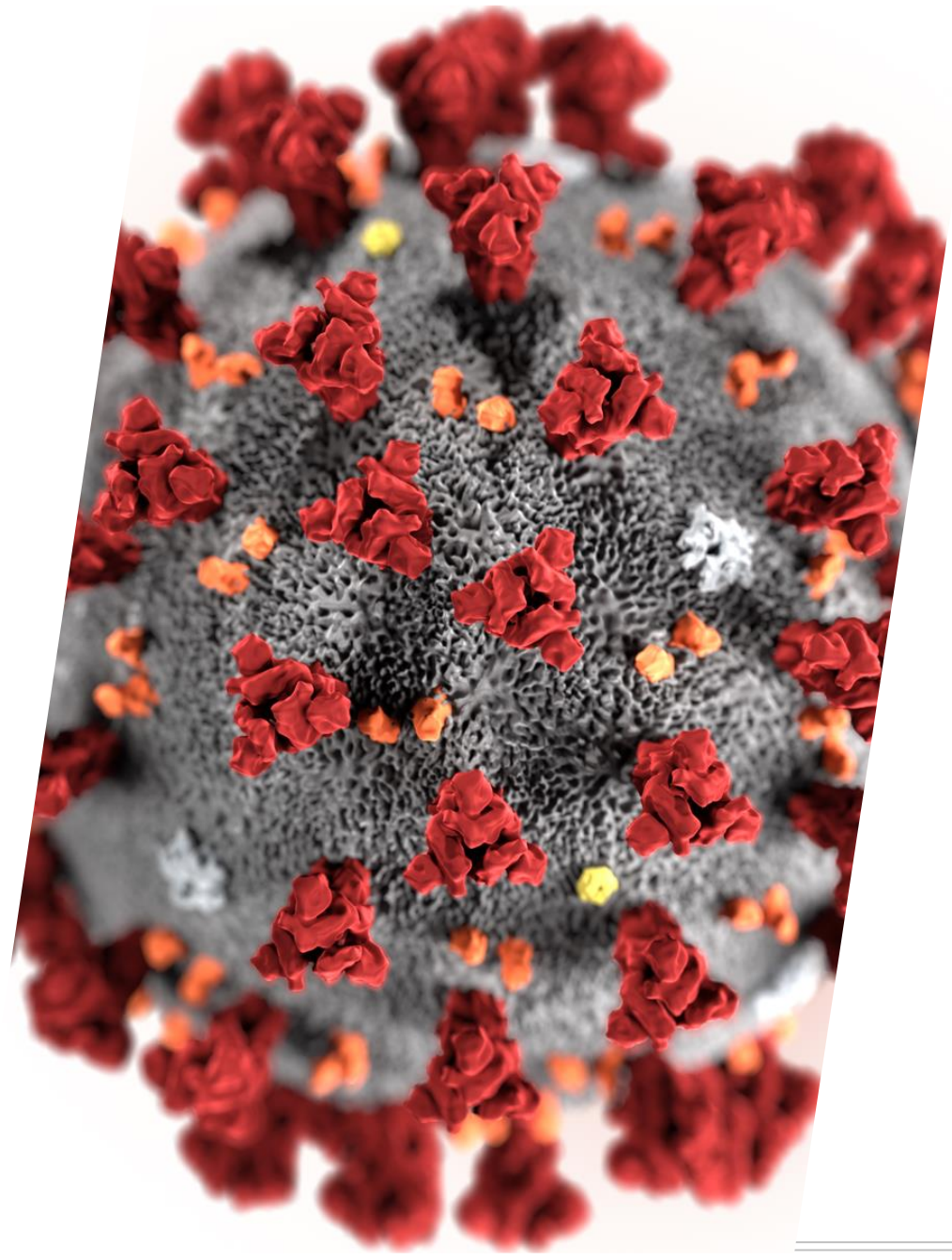
『遠隔採血検査を用いた』 (健都) 都市の価値向上

リビングラボ活動にバイタルデータをご案内致します。

2021年5月吉日



株式会社 リージャー



COVID-19で社会構造が変化

外出制限や社会不安により

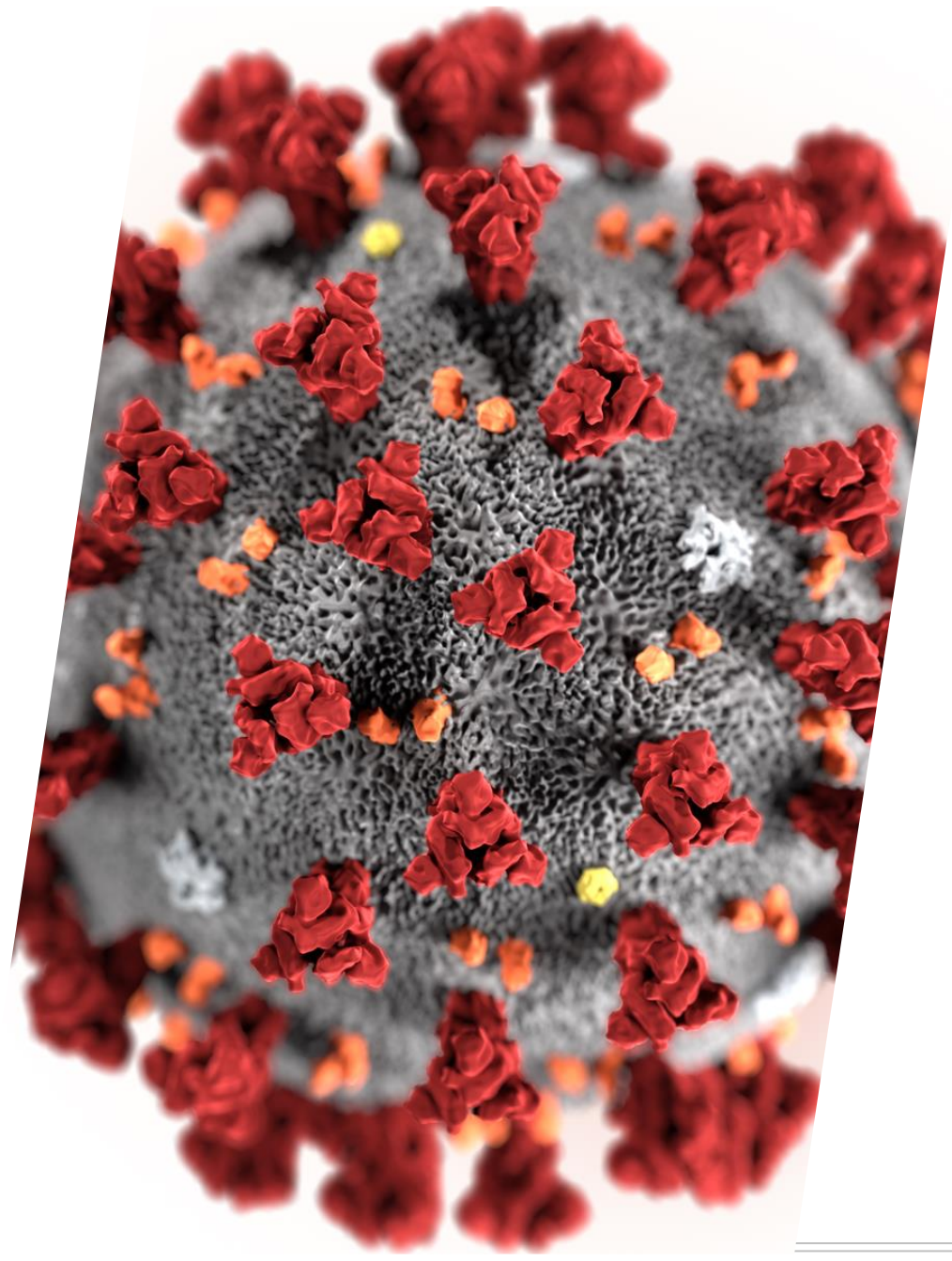
健康診断、がん検診に影響

都市の価値を決めるのは そこに住む市民の「健康」

ヘルスケアイノベーション著

多くの国で
「一番重要な産業は、
国民の健康をつかさどる
ヘルスケア産業だ」

ヘルスケアイノベーション著



コロナに 負けない街づくり

基礎健診の受診者減 がん検診の中断

毎 日 新 聞 【新聞定価1ヵ月 4,037円(本体価格3,738円+消費税299円)】1部売り(消費税込み)朝刊150円 夕刊50円 (※3日保証価格適用)

国が推進しているがん検診			
種類	検査項目	対象者	受診間隔
胃がん※	エックス線検査か内視鏡検査	50歳以上	2年に1回
子宮頸(けい)がん	視診、細胞診、内診	20歳以上	2年に1回
肺がん	エックス線検査および聴診	40歳以上	年1回
乳がん	マンモグラフィー	40歳以上	2年に1回
大腸がん	便潜血	40歳以上	年1回

※胃がんは当分の間、エックス線検査は40歳以上、年1回の実施可

毎日新聞は10月、74市区に文書でアンケートを実施し、すべてから回答を得た。「新型コロナウイルスの影響で、本来予定していたがん検診の実施を中止または延期しているか」と選択式で尋ねたところ、中止または延期したのは68の自治体で、このうち「既に再開している」としたのは6自治体に上った。「実施を検討している」と回答した東京都墨田区は、12月からの実施で調整しているという。

厚労省はがん検診について、7都府県を対象にした緊急事態宣言発令後の4月14日付で全国の自治体に

患者団体「発見遅れる」

全国の自治体が健康増進法に基づき実施しているがん検診について、毎日新聞が道府県庁所在地と政令市、東京23区の計14市区にアンケートしたところ、盛岡、秋田の両市だけが、新型コロナウイルスの影響で一部検査を実施できないまま、今年度の実施を断念したことが判明した。厚生労働省は、コロナ禍でも原則実施を求めている。患者団体などは「がんは早期の発見と治療が重要。検診がなければ発見が遅れる」と懸念している。

今年度コロナ対策できず

がん検診盛岡・秋田断念

74市区調査

ず、医療従事者への感染の危険性が大きいことなどから決めた」と理由を説明した。5月下旬に決定したという。

秋田市は、胃と肺のがん検診中止を決めた。自治体のがん検診には、検診票などでの集団検診と、市区町村が認定した医療機関で実施する個別検診がある。市は胃と肺のがん検診を集団検診のみ実施していた。その集団検診について「当日に来場すれば受診可能」としており、3密対策が

毎日新聞
2020年11月16日
朝刊

がん新規患者99万人

16年、大腸がん最も多く

厚生労働省は16日、2016年に新たにがんと診断された患者数が延べ99万5132人だったと発表した。大腸がんがトップで胃、肺と続いた。今回は16年施行のがん登録推進法に基づき、がん患者を診察した全ての病院と都道府県指定の診療所に報告を義務付けた「全国がん登録」に基づく初の公表データとなる。

報告義務化、初の公表

がんは日本人の死因第1位。公表された統計によると、16年に新たにがんと診断されたのは男性に上った。

部位別で最も多かったがんは大腸で、胃、肺が続く。男性は胃がトップで前立腺が2位、大腸が3位。女性の最多は乳房で大腸、胃と続いた。

今回のデータでは、どの地域でいつ罹患（りか）したかを把握し、地域ごとの状況を分析できる。罹患状況では地域によって特徴がみられた。例えば胃がんの人口10万人あたりの罹患率は新潟74・7、秋田70・3、山形63・2など、東北地方や日本海側を中心とした地域が全国平均（48・2）を上回る。肺がんは長崎55・5、北海道51・

2016年のがんの部位別罹患数（人）

順位	総数	男性	女性
1	大腸 158,127	胃 92,691	乳房 94,848
2	胃 134,650	前立腺 89,717	大腸 68,476
3	肺 125,454	大腸 89,641	胃 41,959
4	乳房 95,525	肺 83,790	肺 41,634
5	前立腺 89,717	肝臓 28,480	子宮 28,076

2016年の都道府県別のがん罹患率
（全部位、人口10万人あたりの発症者数）

	男性	女性
全国平均	469.8	354.1
1 高知県	540.5	419.9
2 秋田県	528.6	381.6
3 鳥取県	522.7	394.7
4 香川県	514.8	381.2
5 島根県	511.7	378.6
1 沖縄県	390.4	321.9
2 長野県	418.9	327.2
3 群馬県	429.4	328.3
4 愛知県	429.7	330.9
5 大分県	436.4	331.2

（注）厚生労働省の資料から作成

2019年
がん死亡者数
376,425人

国立がん研究センターから

「がん」や「感染症」どのような人が重症化？



高齢者や基礎疾患



基礎的な健康の維持

(今一度基本的な健康を見直す)

基礎的な健康の保持・増進
「自己採血」がこれを支援

遠隔

非接触

自動化



リージャーの技術力が課題を解決

いつでも

どこでも

だれでも

地域連携、モデル事業イメージ

地域市民への可視化

国保ヘルスアップ（補助金）事業を活用したデータヘルス（未受診者、無関心層へのデータ活用）

研究機関への共創

研究における効果検証

地元法人への提案

優良中小企業との「健康経営」推進

地元企業連携（共創）

検査データの運用
（IT企業、保健事業社、アプリ企業連携）

これからの時代の新しい技術

デメカル血液検査サービス

**DEMECAL**

デメカル血液検査セット 登録商標 特許番号 224008230342000
日本特許 特許番号 2507127号 米国特許 特許番号 US6,925,472B2

技術の特長

- ① 即時血漿分離デバイス
- ② 希釈法(微量血液分析)

特長①



即時血漿分離デバイスを開発。

いつでも、どこでも自分で
簡単にできる採血キット。

技術の特長

- ① 即時血漿分離デバイス
- ② 希釈法(微量血液分析)

特長②

微量血液分析の技術を確立。

微量の血液で
体内情報を知る。



血液採取



滴下



混和

その場で
血漿分離

(従来)
重さの違いで分ける
⇒自然沈降、遠心分離



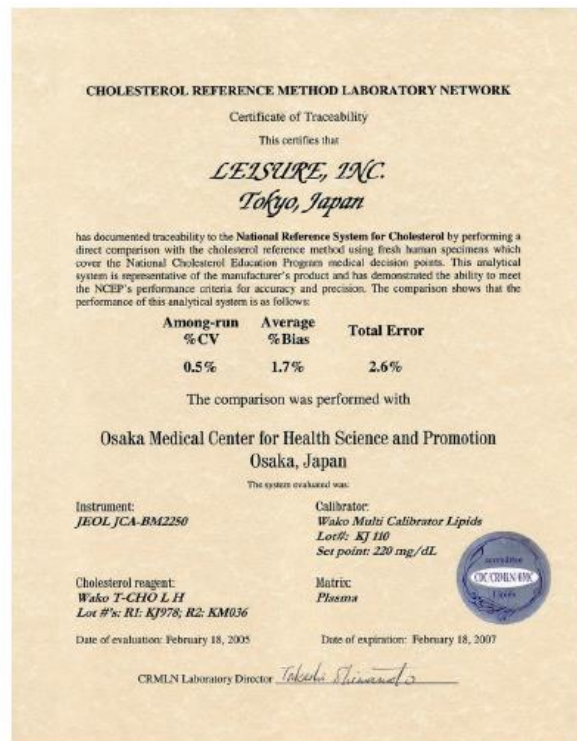
(リージャー方式)
粒子の大きさに分ける ⇒ ろ過

採血動画





CDC承認



米国疾病対策予防センター(CDC、Centers for Disease Control and Prevention)は、米国保健社会福祉省(Department of Health and Human Services)の下部機関で、米国及び海外において、健康増進を主導的に行う連邦機関です。健康に関する様々な決定の根拠となる、信頼できる情報の提供を行っており、疾病予防と健康増進を目的とした各種活動の開発と実施において、中心的な存在となっています。

脂質の心・血管系疾患に及ぼす影響が明らかになってきた現在では、その診療において、脂質検査はより精密かつ正確に測定される必要があります。そのため脂質測定標準化は極めて重要です。この標準化が、CDCが組織する国際的な脂質標準化ネットワーク(CRMLN、Cholesterol Reference Method Laboratory Network)に行われてきました。このCRMLNは、脂質の標準化を中心とした世界8カ国、10施設で、臨床検査における国際的に行われています。

認証書は試薬メーカーや検査機関が、認証書を有効に保有していることが確認された検査は、信頼性の高いものとされています。



DEMECAL専用検査ラボ・精度管理

デメカル検査は「デメカルヘルスケアリサーチセンター(以下:DHRC)」(山梨県笛吹市)で行われています。

DHRCはデメカル検査の検体のみを受け付ける専用の検査所として運営されています。

もちろん、登録衛生検査所としての認可を得ています(登録衛生検査所 山梨県第16号)。

また毎年、(社)日本臨床衛生検査技師会 総合精度保障政策委員会より精度管理が適切に行われているか評価をいただいております、その結果は最高レベルを得ています。



運営企業

 株式会社アイル

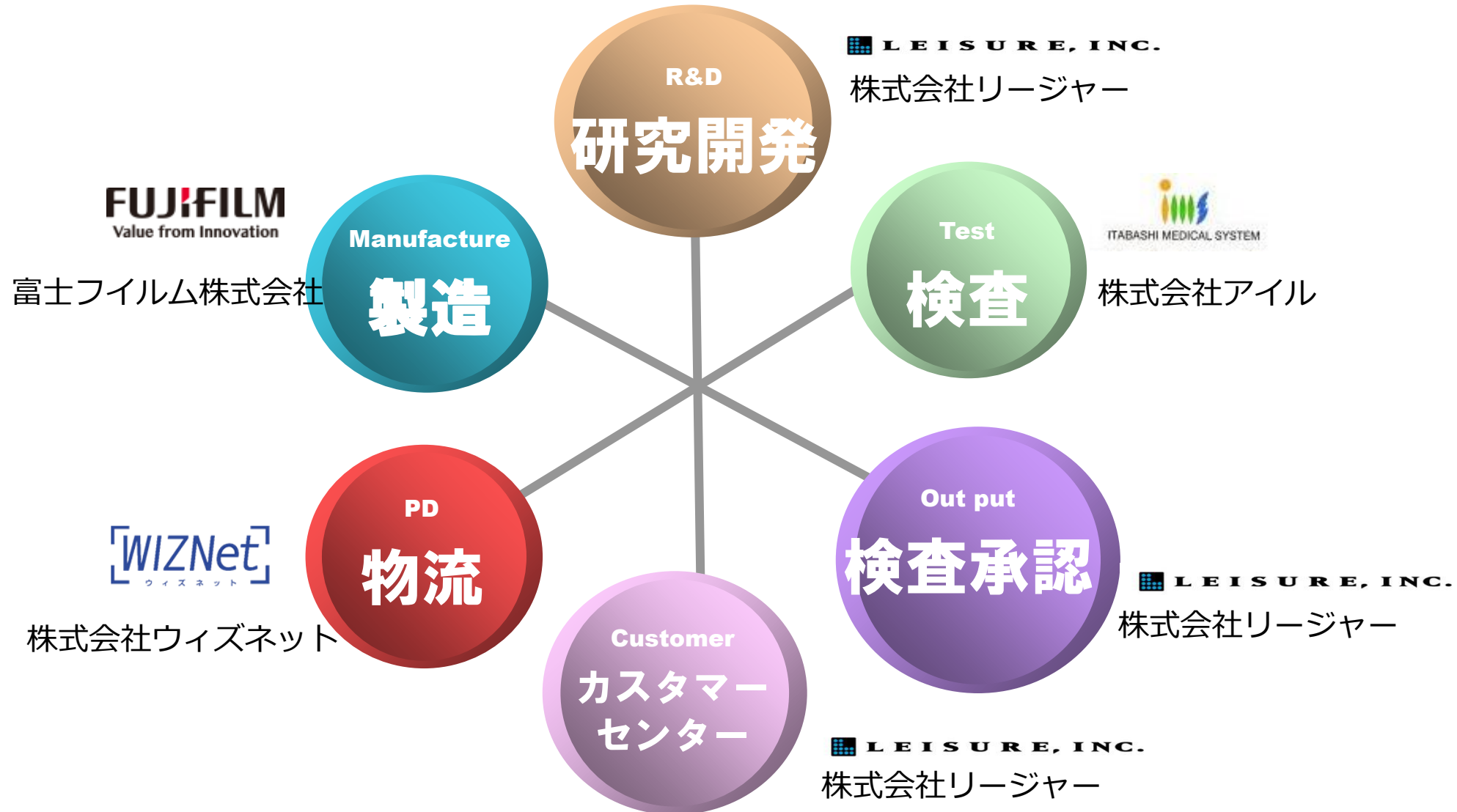
デメカルヘルスケアリサーチセンター

〒406-0004 山梨県笛吹市春日居町小松855-24

衛生検査所登録番号: 山梨県第16号
医療関連サービスマーク認定番号: 認定番号: E(13)-2002130310
医薬品販売許可番号: 0319030029号
高度管理医療機器販売業: 4501190500022号
アメリカ血液バンク協会(AABB)認証施設
プライバシーマーク登録番号: 第14300037(04)号



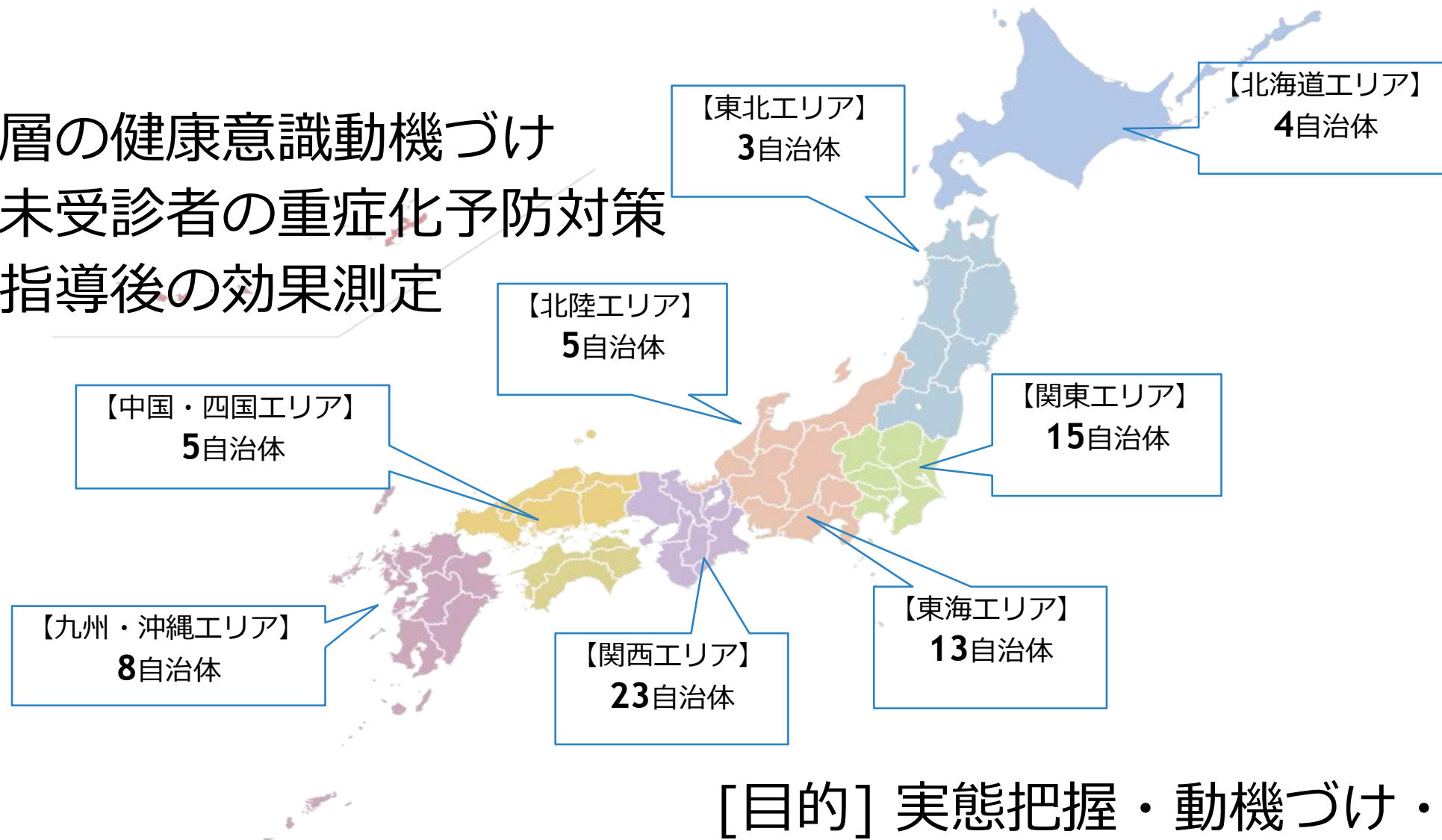
Alliance Partner



事例紹介

全国76自治体での採用実績

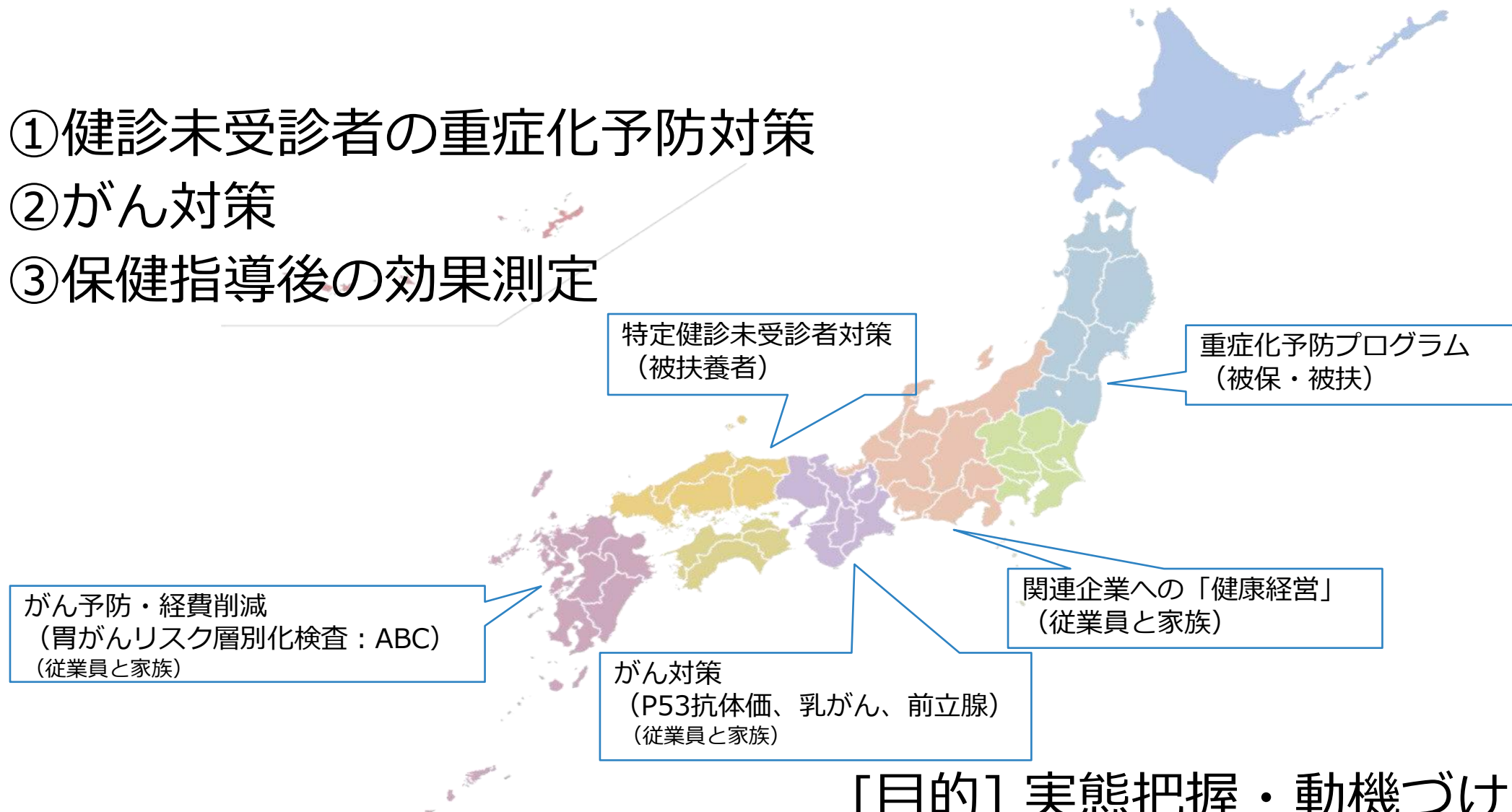
- ①若年層の健康意識動機づけ
- ②健診未受診者の重症化予防対策
- ③保健指導後の効果測定



[目的] 実態把握・動機づけ・行動変容

全国の120健康保険組合での採用実績

- ①健診未受診者の重症化予防対策
- ②がん対策
- ③保健指導後の効果測定



[目的] 実態把握・動機づけ・行動変容

その他の活用事例

スポーツ（筋力・疲労度）

女性の健康（妊活）

生命保険会社の保険加入時の審査

小児健康教室

医療機関 遠隔医療

企業人事・健康部局「健康経営」

取扱い 検査キット一覧

生活習慣病 セルフチェックシリーズ



希望小売価格(税別)
7,000円

メタボリックシンドローム&生活習慣病 セルフチェック

- 生活習慣病血液検査・生化学12項目
+HbA1c +LDLコレステロールの14項目
- メタボリックシンドローム判定
- 腹囲測定メジャー付き

メタボリックシンドロームをチェックする検査です。メタボリックシンドロームは、自覚症状はなくても様々な病気が引き起こされやすい状態なので、要注意です。

生化学血液検査 12 項目	
栄養状態のチェック	脂質代謝のチェック
●総たんぱく (TP)	●総コレステロール (TC)
●アルブミン (ALB)	●中性脂肪 (TG)
	●HDLコレステロール (HDL-C)
肝機能のチェック	糖代謝のチェック
●AST (GOT)	●血糖 (GLU)
●ALT (GPT)	
●γ-GT (γ-GTP)	腎機能のチェック
	●尿素窒素 (BUN)
痛風のチェック	●クレアチニン (CRE)
●尿酸 (UA)	



希望小売価格(税別)
6,700円

生活習慣病+糖尿病 セルフチェック

- 生活習慣病血液検査・生化学12項目
+HbA1c の13項目

生活習慣病の中でも特に糖尿病に焦点をあてた検査です。糖尿病のリスクがあると様々な合併症を引き起こしたり、他の症状を悪化させたりします。

がんリスクチェックシリーズ



希望小売価格(税別)
9,000円

胃がんリスク層別化検査【ABC分類】

- ペプシノゲンⅠ・Ⅱ — 胃の萎縮度
- ヘリコバクター・ピロリ抗体 — ピロリ菌の有無
- ABC分類 — 胃がんリスク判定

ペプシノゲン検査とピロリ菌検査の両方が一度にできます。両検査とも胃がんのリスクをみる検査ですので、胃がんが心配な方におすすめです。



希望小売価格(税別)
6,600円

ピロリ菌検査(胃がんリスクチェック)

- ヘリコバクター・ピロリ抗体 — ピロリ菌の有無

胃炎や胃潰瘍の原因と言われているピロリ菌の感染をスクリーニング(ふるい分け)する検査です。日本で胃がんの死亡率が高いのはピロリ菌によるものとも言われています。



希望小売価格(税別)
11,000円

がんリスクチェッカー 男性向け

- p53抗体 — 食道、大腸など比較的早期のがんリスク腫瘍マーカー
- PSA — 前立腺がん腫瘍マーカー

男性特有の前立腺がんに加え、食道、大腸などのリスクをチェックします。がんリスクの指標の一つとしてご利用ください。



希望小売価格(税別)
11,000円

がんリスクチェッカー 女性向け

- p53抗体 — 食道、大腸、乳がんなど比較的早期のがんリスク腫瘍マーカー
- CA15-3 — 乳がん腫瘍マーカー

女性に多い乳がんに加え、食道、大腸がんなどのリスクをチェックします。がんリスクの指標の一つとしてご利用ください。

感染症 セルフチェックシリーズ



希望小売価格(税別)
6,000円

HIV セルフチェック

- HIV抗体

後天性免疫不全症候群(AIDS)の原因になるHIV感染に関して調べるスクリーニング検査です。HIV感染後に体内で作られるHIV抗体を測定します。



希望小売価格(税別)
9,800円

B型/C型肝炎 セルフチェック

- HBs抗原
- HCV抗体

B型肝炎、C型肝炎ウイルスは主に血液や体液を介して感染します。母子感染や性的接触、注射針の使い回しなどが原因と言われています。



希望小売価格(税別)
10,800円

B型/C型肝炎+HIV セルフチェック

- HBs抗原
- HCV抗体
- HIV抗体

HIV、B型、C型肝炎ウイルスは主に血液や体液を介して感染します。症状が出るまでに時間を要する場合があります。

ソーシャルコミュニケーションとして
講演会、Webセミナー等
市民向けの啓発活動に共創させていただきます。

日本で実装した ヘルスケア事業を 世界にも届けたい！

以上ご案内を申し上げます。